

上郷地区

上郷地区の井水を利用した地域活性（情報発信）

OIDE よ！かみさと広場 ～魅力たっぷり野底山森林公園～



【研究メンバー】

青山美莉愛・小田原希花・熊谷海来
城田瑚好・林萌美・本田萌・矢澤沙那
國松秋穂(指導教員)林亮介(上郷公民館主事)

【ご協力いただいた方々】

上郷公民館長 山浦貞一様
モーリーの森応援隊 佐々木久好様 佐藤環様
「繫」下黒田有志の会 野牧詔男様
野底山森林公園管理事務所 井村典子様
黒田人形座座長 清水謙一様
飯田考古博物館学芸員 春日宇光様
筒井捺染工場 筒井克政様
湯本紀美子様 熊谷由美様

1. はじめに

上郷地区出身のメンバーがおらず上郷について何も知らなかったため、「ふるさと学習教材」で上郷の歴史や産業などを学び、自分たちが興味を持った施設や歴史、伝統文化財などを見学しに行った。色々な場所に行くことにより地域の方と関わることができ上郷に住んでいる人でも知らない上郷の伝えるべき場所、文化があることがわかった。そこで、私たちが伝えたい場所のひとつである野底山森林公園を使った活動を行った。

2. 研究課題

野底山森林公園は地域の大切な財産としてモーリーの森応援隊の方を中心に保全活動がなされている。しかしながら、コロナ禍もあり上郷地域の方による公園の利用機会が増えていないことを知った。そこで、自然に触れ合う機会として、野底山森林公園で自然を感じながら歩くことで運動不足も解消できればいいと考えた。また、上郷のマスコットキャラクターであるモーリー君を知ってもらうための企画を考えた。

3. 研究経過

- 5月 ふるさと学習教材を使って地形・歴史・産業・災害について学習
- 6月 野底山森林公園探索、黒田人形浄瑠璃伝承館見学
- 7月 上郷考古博物館見学、筒井捺染見学
- 8月 自分たちがやりたいことの企画書作成
- 9月 企画決定、野底山森林公園管理事務所の井村さんとモーリーの森応援隊の方からお話を聞く
- 10月 おえかきコンテストとクイズラリーの準備
- 11月 「もみじ祭り」でおえかきコンテストとクイズラリーを実施。地区の文化祭にて当日の様態を展示

4. 研究内容

夏休みに「意外と知らない上郷の魅力を地域の方に知ってもらおう」「大人から子供まで楽しめる自然探索」「運動不足解消」ができる企画として“おえかきコンテスト”と“クイズラリー”を考え、11月に開催される「もみじ祭り」にて実施することにした。準備期間には管理人の井村さんやモーリーの森応援隊の方々から課題点を指摘していただき、企画を練り直した。その他にパンフレットの配布や水引やキーホルダーなどの景品の制作、上郷小学校への宣伝など準備を進めた。当日は快晴のもと私たちの企画に約160名の方が参加して下さった。

5. 考察

上郷地区を知っていくにつれて、地域の方でも知らないような魅力があることを知り、私たちはその魅力を地域の人に知ってもらおう企画を考えた。企画には約160人の親子が参加して下さり、野底山森林公園の自然に触れ合いながら“おえかきコンテスト”と“クイズラリー”に取り組んでもらった。コロナ禍で外出する機会が少なく、自然に触れ合うことも減ってきていた中で、参加して下さった方々は楽しんでいたので良い企画を考えることができた。自分たちの企画だけでなくもみじ祭りでの企画になったので、地域の方と協力しながら取り組むことができ、地域の方とのコミュニケーションも取ることができた。

6. 今後の課題

今回は野底山森林公園の魅力しか伝えることができなかったので、他にも私たちが見つけた上郷の地域の人にも知らない魅力を伝える企画を考えてほしい。上郷にはたくさんの魅力があるので課題研究をすればするほどもっとたくさんの魅力で溢れると思う。そのためにも、今後の上郷班に期待したい。

7. 終わりに

何も知らない状態から始まった課題研究で、最初は何をしたらいいかわからず大変だったが國松先生がアドバイスをくださり地域の人と協力し合って企画を行うことができたので、課題研究とは自分たちの力では何もできないと感じた。しかし、自分たちで考えるという力を付けることができたのでこれからも積極的に自分の地域について考えるということをしていきたい。

